

第6回センシングシステムシンポジウム
および 2024年度第3回FIoTコンソーシアム研究会
プログラム

日時 2024年12月10日(火) 09:30~17:15

場所 秋葉原UDX4階 UDXシアター(オンライン同時開催)

【概要・趣旨】

産業技術総合研究所(以下、産総研)センシングシステム研究センターでは、様々な社会課題解決を目指し、センサおよびセンシングシステムの研究開発を行ってきました。本シンポジウムでは、これまでの当センターの活動成果ならびに主たる研究成果について、講演を行います。

また、産総研として、昨今の社会情勢を踏まえ、これまで以上に出口を見据えたセンサおよびセンシングシステムの開発を進展させるために4つの技術分野(スマートセンシング、光技術、材料、半導体)を中心に最新技術動向、研究開発動向等について紹介するとともに、我が国が目指す社会の未来像や解決すべき課題等について議論、および情報共有を図ります。

司会: 山下 健一 (センシングシステム研究センター 副研究センター長)

09:30~09:50 「開会挨拶」

産総研 エレクトロニクス・製造領域 領域長 安田 哲二

09:50~10:10

「産総研センシングシステム研究センターの概要と活動成果」(仮題)

産総研 センシングシステム研究センター 研究センター長 植村 聖

セッション1: 【 産総研センシングシステム研究センターの主な研究成果 】

10:10~10:35 (講演20分+質疑5分)

「バイオセンシング技術に基づく医工連携、農工連携」

センシングシステム研究センター 総括研究主幹 福田 隆史

10:35~11:00 (講演20分+質疑5分)

「Ultra-thin Piezo Electric MEMSが切り拓くハプティクス新時代」

ハイブリッドセンシングデバイス研究チーム 研究チーム長 竹井 裕介

11:00~11:25 (講演20分+質疑5分)

「窒化物半導体の進展 -最近のSSRCの研究成果-

センシングシステム研究センター 首席研究員 秋山 守人

11:25~12:50 **展示会**

企業展示: 4社

SSRCデモ展示: 4件【矢菅 浩規 (電気毛管現象による液体操作と光検出)、鈴木 大地 (CNTによる光熱センシング)、駒崎 友亮 (湿度変化による発電)、岡本 有貴 (超小型広角MEMS光スキャナ)】

SSRCポスター 6件【坂田 義太郎 (光散乱による潜傷検査)、平田 研二 (窒化アルミのマテリアルズインフォマティクス)、鈴木 宗泰 (固体電池開発)、竹下 俊弘 (双方向リモート触覚伝達システム)、渡邊 雄一 (印刷で作る偽造複製防止タグシート)、林 瑛瑛 (伝送特性解析に基づく高周波配線設計)】

セッション2: 【 スマートセンシング・光技術 】

司会: 田原 竜夫 (九州センター 所長代理)

13:00~13:40 (講演30分+質疑10分)

「自在化身体:VRと人間拡張技術が拓く未来」

東京大学先端科学技術研究センター 副所長 / 教授 稲見 昌彦

13:40~14:30 (講演40分+質疑10分)

「IOWNに向けたデバイス技術」

NTTデバイスイノベーションセンタ センタ長 才田 隆志

14:30~15:00 (講演25分+質疑5分)

「光電融合技術の進展と産総研プラットフォームフォトンクス研究センターの活動」

産総研プラットフォームフォトンクス研究センター 研究センター長 並木 周

15:00~15:10 休憩

セッション3: 【 半導体・材料 】

司会: 山田 浩志 (センシングシステム研究センター 研究チーム長)

15:10~16:00 (講演40分+質疑10分)

「日本における半導体製造復活に向けたパッケージング技術への期待」

株式会社SBRテクノロジー 代表取締役 西尾 俊彦

16:00~16:35 (講演30分+質疑5分)

「Q-LEAPにおけるダイヤモンド量子センサ研究開発と社会実装に向けた取り組み」

東京科学大学 工学院・特任教授/Q-LEAP HQ総括 酒井 忠司

16:35~17:05 (講演25分+質疑5分)

「(仮題)GX社会のコア技術:先進パワー半導体の研究開発」

産総研 先進パワーエレクトロニクス研究センター 副研究センター長 竹内 大輔

17:05~17:15 「閉会挨拶」

産総研 センシングシステム研究センター 副研究センター長 吉田 学

※プログラムは変更する可能性があります。

※このシンポジウムの開催に関して収集した個人情報は今後のシンポジウムご案内ほか、コンソーシアム活動及びセンシングシステム研究センターの広報活動に限定して活用させていただきます。

お問い合わせ先:

センシングシステムシンポジウム事務局

(国研)産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター内

E-mail: M-ss-official-symp-ml@aist.go.jp (参加申込者用)